

創業30年を迎えて、カシミヤにこだわって来たUTOが、第二の素材、シルクを本格的に開始します。

カシミヤとシルクは、「着用されるご本人が最も気持ち良さを感じて」天然素材の最高峰の素材です。

カシミヤニットを一枚一枚丁寧にお作りしてきたUTOが、今までの経験と技術に乗せて最高に気持ち良いシルクニットをご提供します。

シルク以外でも、リフレッシュ、工場見学会、カシミヤのリサイクル、本の出版「カシミヤとニットの話(仮題)」などの30周年企画を計画しています。

【本社ショールームが
広くなりました】

東京青山の骨董通り。小原流会館の先にあるたつむら南青山の607号室です。

隠れ家的で落ち着ける空間でUTOの社員とじっくり相談しながらお気に入りの生地を探してください。全てのデザインと全色が揃っています。実際に手に取って、試着でのサイズや風合いをご確認いただけます。

* 出来るだけご予約をお願いします。

【東日本大震災被災者への寄付】

2012年から始めた寄付。今年は四十万円を高橋北上市長へお届けしました。岩手日報と若手日曜で掲載されて、記事をご覧になった被災者の方から防災ラジオと灯油購入権を頂き感謝している旨の、丁寧なお礼の葉書を頂きました。細々と続けてきた支援ですが、今回で10回目になり寄付額は310万円になりました。

【北上市市政30周年発展
功労賞受賞】

4月24日、2月の予定がコロナで延び延びになっていた、若手県北上市の市制施行30周年、市政発展功労者特別表彰の式典が北上市さくらホールで行われ、当社社長の宇土が表彰されました。



【何が凄いのニットのカスタムオーダー】

UTOの売りのひとつは、「あなたに、ぴったりサイズでお好きな色で作ります」という、ニットのカスタムオーダーです。パリコレやミラノファッションショーは有名ですが、それを半年も前に開催するのは、バイヤーからご注文を頂く為にショーでお披露目して、世界中から集まってもう機会を作るのが究極の狙いです。その縮小版が日本をはじめ世界中で行われます。

リスクを出来るだけ避ける為に、製造期間から逆算して半年も前にショーをやる必要があります。そのご注文に対して全世界で大量生産が行われます。特にニット生産は、効率よく製造する為に細分化された分業生産です。

製造している間に多くのメディアに話題を提供し前宣伝してもらい購買意欲を喚起する。これは素晴らしいビジネスモデルです。

この様な世界の体制の中で、UTOの、「あなたのために作ります」は、業界が驚く「業界の非常識」なんです。

多くの企業が分業で生産するところを、UTOでは全ての工程を一貫して自社工場で行います。大量に安く作るという量産工場のような生産は出来ませんが、お客様の為に一枚一枚丁寧にお作りするのがUTOの特徴で誇りなのです。

私たちの天浜線より



【青山・表参道界限】

UTOはこんな街から発信しています

カシミヤおやじの 青山・表参道界限の三十年 (一)

会社を創業した30年前は40代という若さゆえ、表参道・渋谷間はよく歩いていました。

渋谷から宮益坂を登って坂の上までくると、左側に志賀昆虫店という間口一間ほどの小さなお店がありました。ここは九州の田舎の島原の私を知っている東京で唯一のお店でした。

小学校低学年の頃から蝶を追っかけて昆虫学者になるのが夢で、採集用具はここから郵便で購入していました。学者を諦めてビジネスの世界に入ったので特別な想いで前を通っていました。

お店に入ると、アルコールやホルマリンの匂いがして、アマゾン産のモルフォ蝶や迫力満点の東南アジアのクワガタなどの標本が並ぶワクワクの世界でした。

もう少し行くと左側に第一園芸がありました。お花も大好きで空いた時間が出来るように覗きました。普通お花屋さんには10坪ぐらいですがここはワンフロアが100坪以上もありビルの1階から7階まですべて一つのお花屋さんという豪華版でした。

確か三井のグループ会社と聞いて「あの三井がお花の店をやるんだ!？」と、思った記憶があります。一階が贈答用の花のフロアで超豪華なギフト用の花と大きな観葉植物に圧倒されました。残念ながら95年ごろにビルの再建で移転したようです。その後は普通のビルになってしまいました。

その先がこどもの城と国連大学校です。丁度青山学院の向かい側になりますが、ここは以前都バスの車庫で、70年代にこの裏で友人と海外旅行の会社を立ち上げて、一日中排気ガスの匂いに悩まされた。

今は建て替えられたガラス張りのOMOというビルの地下で営業していますが、会社はJR東日本に買収されてしまいました。

ていまして、思い掛けない20年後に青山でニットメーカーを創業し縁を感じました。当社の創業とほぼ同じ時にこの国連大学校がスタートしました。丹下健三設計の建物は珍しい三角形でアジア初の国連機関と言っ先進の青山を予感してワクワクしました。

ある日、多くの警察官が出勤し厳重な警備に何事だろうと思っていたら、国連大学の開所式に当時の皇太子殿下が出席されて、『国連の施設だから皇太子殿下も来られるのか』と感心していると、そこに外のマークの付いた高級車が次々と到着し、さすが国際的な東京だと驚いた記憶があります。

その時に、外のマークの車は在日外国大使館の車で、丸の中には大使の車で車自体が治外法権だと教えてもらい二重に感心した記憶があります。

青山通りと骨董通りの丁字路の角に紀ノ国屋があります。日本最初のセルフ式スーパーマーケットだそうですが、一般的なスーパーとは大違いの在日外国人や高級レストラン御用達のような超高級店です。三十年前は外国の食材が殆どない時代でここには見たことがない食材が沢山並んでいました。日本人には馴染みのない食材でも、遠い外国から日本に来て日本で味わえる祖国の特別な味でしょう。



シルク100% 男女兼用

素肌に着たいTシャツ

1232-1407 ¥38,500(税込)

滑らかでうっとり優しい肌さわり、『特殊なウオッシュアップ加工』に『ふわふわ加工』を施した、上品なニットTシャツです。蒸れや汗冷えの心配なく、夏でもさらりと快適に。衿、袖口、裾は袋編みでスッキリ、光沢もより控えめです。贅沢なシルク素材が洗えてデイリーに着回していただけます。



シルク100% レディース

Vネックセーター

1132-1424 ¥41,800(税込)

Vネックの細い衿に袖と裾リブも細く、女性らしいディテールにこだわっています。洗えるのでいつものワードローブに合わせて、日常使いをお気軽にお楽しみいただけます。優しい肌触りで一度着たら虜になる、最高に贅沢で幸せな気持ちになれるシルクニットです。



カシミヤ100% 春夏カシミヤ

スロンティングストール・ミドル

1312-3364 ¥35,200(税込) 155cmx65cm

細いカシミヤ糸(単糸)で編んだ、スカーフのようにさらっと巻いて透けるほど薄い、軽やかなカシミヤマフラーです。単糸でマフラーを編むと端が斜めに。首に巻くと生地が“ウェーブライン”を覗かせ柔らかさとシャープさを兼ね備えて、上品な雰囲気がかだんのコディネートを大人っぽく演出してくれます。



カシミアとニットの話 * (七十二)

リサイクルカシミアセーターを作りたい

捨てられないカシミアを甦らせる

軽くて暖かいお気に入りのカシミアニット。決して安くはないし、買うときには結構勇気を出して買っただけに大事に大事に着用しますね。正直他の素材のニットとは扱いが違います。

そんなカシミアですがお気に入りのニットほどの着用の頻度が多くなり、染みや虫食いや経年劣化での色褪せなどの着古した感で殆ど着る機会がなくなったカシミアだけどなか捨ててしまう気になれないですね。

という私も、自分の会社で作ったという愛着もあるし、長い間着れば着るほど自分に馴染んできて体の一部みたいに馴染んでるので手離せず、自宅では肘に穴の開いたカーデガンを愛用しています。もったいないより捨てる気になりません(笑)。

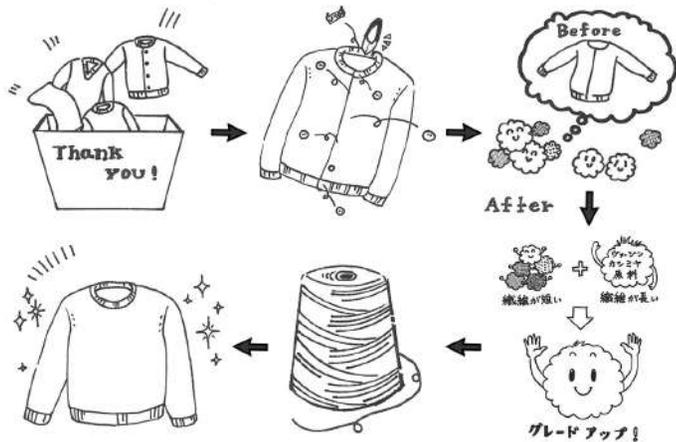
古くなったUTOのカシミアをもう一度甦らせられないだろうかと長年考えていました。世界でトップのカシミア原料にこだわって作って来た製品だからこそなんとか甦らせたい。

リサイクルカシミアの希望や夢をお話ししたり計画するのは簡単で楽しいのですが、いざ実行に移すと大変なことだと気づきます。

まず、最低200枚ぐらゐのセーターを集めなければなりません。下手をすれば新品より高くなる可能性もあるし、どこかのメディアとコラボするとか、色々考えあぐねているそんな折、UTOのカシミア製品を愛用して頂いているお客様から「使い古してもう着ないUTOのカシミアがあるけど断捨離する気にならないからリサイクルできないか?」という連絡を頂きました。

一番難しいのがセーターを集めることです。捨てるに捨てるというお客様が他にもいらっしゃるだろう、時間がかかってもいいから実行しようと思えました。

カシミアをリサイクルする方法は、製品をワタに戻す(反毛)ことから始まります。UTOのカシミア製品でしたら最高級の原料と解っていますが、それでもワタに戻すと繊維が切断されて短くなるので繊維の長いカシミア100%のバージンのワタを足して繊維長を確保して紡績します。バージンのワタを足して紡績してもいつもUT



1 着なくなったUTOカシミアを集める
2 付属品など、カシミア以外を取り除く
3 反毛・わたに戻す
4 バージン原料を加える
5 糸にする
6 製品にする

夢のような企画ですが、なんとか成功させて甦ったカシミアと一緒に着れたらいいなあと思っています。

着なくなったUTOカシミアニットが有りましたら是非協力ください。大変心苦しいのですが、カシミア100%でもUTOの製品に限らせて頂きます。

提供して下さった皆さんの色々な色が混じった他にはない魅力的なニットが出来ると思っています。その甦ったリサイクルセーターを皆様に販売するつもりです。カシミア製品を寄付して下さった方にはお礼の意味も込めて30%オフの特別価格で販売することも予定しています。

Oの使っていた平均繊維長までは甦らないので通常より太い糸になり、いつもの1.2ゲージではなく厚めの7ゲージのセーターになるはずですが

UTO カシミアは当然SDG'sです



2015年に国連サミットで合意された持続可能な開発目標、いわゆるSDG'sは地球に優しい生活をしましょう。それは地球温暖化を予防してできるだけ二酸化炭素を出さない生活することだと思えます。

賛同とか応援の身近な表明方法は購買だと思えます。自分の買う物、売っている物(ビジネスしている)が地球に優しい製品かどうかでしょう。

最近SDG'sの商品を買おうと思っても、プラスチックやペットボトルの容器で販売されているものが多いにも多く選びようがないのも現実です。安くするためにという供給者側の論理ですがもう少し高くても買いたい商品も多いと思えます。

カシミアを売るUTOとしては、持続可能ということに関しては自信があります。それは、創業以来SDG'sの商品が大好きで持続可能な天然素材のカシミアに絞って来たからです。だから努力してSDG'sを意識したビジネスをする感覚がありません。

カシミアの原料はカシミア牧民が家畜として育てたカシミアからうぶ毛を頂いたものです。そのうぶ毛は強制的に刈り取るのではなく寒い冬を越して春になって生え変わる冬毛を落ちる前に頂くのでカシミア山羊にはほぼ負担をかけません。そのうぶ毛を糸に紡績して当社でニット製品を作ります。余計な化学繊維を混ぜて安くすることはありません。

ニットの中には、編地を編んだ後にカットして縫いあげるというカットソーの方法もありますが、当社のニットは全て成形編みという糸を全く無駄にしない製造方法で皆様に届けています。

原料を生産する牧民の人達、ワタを作る人達、紡績をして糸を作る人達、そして当社の職人と販売を受け持つ社員が、地球に最も優しい天然素材で一枚一枚丁寧にモノづくりをする。そして大事に大事に着用して下さる。その製品は最終的には土にもどる天然素材です。これこそ最も地球に優しい仕事だと誇りを持っています。

ファッション業界でもプラステックを再生して新しい製品を生み出すことがSDG'sかのように歌っている会社やブランドもあります。

そもそもなぜ巨大設備を必要とするプラステックを使わなければならないのか疑問に思っています。それならば新しいプラステックの生産は止めて、地球上に捨てられたプラステックを回収して再利用するのから大賛成です。

思い出のホテルを旅する(七十二)

元 旅行屋のお勧め ワイオミング・USA

トレイルエンド・モーテル

30年ほど前アメリカを一周した旅の後半のことです。早朝にシカゴからソルトレイクシティへ飛び、空港のエアバスでフォードのトラスを借りました。

今日どこまで行けるか北へ向かって車を走らせました。ユタ州からアイダホ州に入ると地平線まで続くジャガイモ畑に啞然。ワイオミング州が近づいて来ると空模様様が怪しくなり、州境を過ぎる頃にガソリンが少なくなつて宿を探すことにしました。

街の名前を憶えていないのが残念ですが、まさに西部劇の映画に出てくるセットのような田舎の街のトレイルエンド モーテルという宿に泊まりました。

「どん詰まりの宿と言っただろうね」と、言いながら今にもカーボーイハットのガンマンがドアを蹴って開けそうな簡素な宿に車を止めました。

部屋はツインベッドにトイレとシャワーだけというシンプルさ。それでもさすがにアメリカ、ベッドはセミダブルで日本のダブルベッドぐらゐはあります。ニコニコ顔の愛想の良い親父さんに迎えられて前払いを済ませます。料金は一部屋25ドルだったと思えます。「安い!」と喜んだことを覚えています。

明日は朝早く出ると伝えると、「何時に出ても良いよ! 鍵をベッドの上に置いておいてね」とウィンクし、「俺は寝てるから」と、いかつい親父さんが両手をほほの横に合わせるしぐさが可笑しくて可愛い。アメリカと言えどやはり田舎はだらか。親父さんの表情がとっても印象的でした。

夕食はヴィクトリアステーキバンクという名のカフェレストランを親父さんに紹介してもらいました。名前の通り昔は銀行だったというレストランはとっても賑わっていました。

当時日本では高価でなかなか食べられないティーパーンステーキが10ドル代と驚く安さ、その上とっても美味しく大満足。美味しさだけは忘れないですね。街の名前と写真がないのが返す返す残念です。



早朝、グランドティオンへ。あいにくの霧でティオンの山々は見ることが出来ませんでした。昔見た映画のシーエンの光景をどうしても見たくて翌日イエローストーンレイクから引き返しシグルナルマウンテンに登りました。

山頂の見晴台では凄じい景観が待っていました。スネークリバーに沿った大湿地と奥にそびえるティオンの険しい山々。快晴のティオンは絵に見たとおりでしたが絵では決して実感できない広がりや迫力でした。